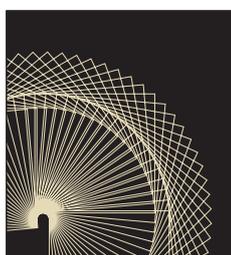




「私にとって従業員は家族同然の存在で、皆と一緒に上を目指していくことが私の幸せです。頑張っている従業員がもつと稼げる環境を整え、幸せにすることが夢です」

対談記事 ▶▶ 034p



有限会社 五幸建材工業

代表取締役

松山 繁

建築現場の残土や産業廃棄物をダンプカーで運搬する事業を手がけ、30年にわたって存続してきた(有)五幸建材工業を率いる松山氏。自身の友人や後輩、家族が多数在籍する社内での愛称は「父ちゃん」。顧客、会社、従業員、家族、従業員の家族の「五者」の「幸せ」を願う社是を何より重んじ、若手から年配社員まで誰もが元気にやりがいを持って働ける環境づくりに勤しんでいる。「スタッフの頑張りあつての会社です。皆には日々心から感謝しています」。熱い思いを抱く会社の大黒柱は、仲間たちとこれからも上を目指して走り続けていく。



有限会社 五幸建材工業
代表取締役

松山 繁

神奈川県川崎市出身。父親が1993年に設立した(有)五幸建材工業に入社し、ダンプトラックによる土木・建築現場からの残土運搬処分に携わる。そのほか残土の受け入れ、産業廃棄物の収集運搬、改良土の販売なども行う。幼少時代からの友人や後輩、親族らを従業員に抱え、現在約30人。保有トラックは3トンから10トンまで27台に及ぶ。

残土や産廃をダンプカーで運ぶプロ集団 会社と仕事に関わる人たち全員を幸せに

(有)五幸建材工業は、土木・建築現場で穴を掘った際の残土をダンプカーで運搬する会社。20代中心の元気なスタッフが、素早く確実な仕事で顧客の期待に応えている。持ち前の温かい人間性で自社を引っ張る松山繁社長に、タレントの嶋大輔さんがインタビューした。

Guest Comment>>



嶋 大輔 (タレント)

インタビュー中ずっと私の代表曲「男の勲章」をかけてくれていて、松山社長の優しい気遣いが嬉しくもあり、少し恥ずかしくもありました(笑)。誰にでも誠実で、思いやりにあふれた人柄が真っすぐ伝わってくる方で、だからこそ社員の皆さんから頼りにされ、取引先の信頼も厚いのでしょうか。その頑張り、私から「勲章」をあげたくくなりました!

親しい間柄で団結する家族のような会社

嶋 (有)五幸建材工業さんは、松山社長のお父様が創業されたそうですね。
松山 はい。父の代から続いて、2023年に30周年の節目を迎えました。私は中学に通う頃から父の会社で働きたくて、「苦労するからやめておけ」と言われたのですが、どうしてもやらせてほしいと頼み込んで、他の会社で修業してから入れてもらったんです。
嶋 息子さんに2代目を託すことができ、お父様も本音では喜びだったことと思います。ダンプカーを使うお仕事と聞きましたが、主にどんなものを運搬しているのでしょうか?
松山 土木や建築の現場から出る残土の

運搬処分がメインで、産業廃棄物も運ぶこともあります。ハウスメーカーさんとの取り引きで家1軒の現場から運ぶときは4トン車などの小型車で向かい、大規模な工事現場の場合は10トンの大型車を何台も連ねてうかがいます。
嶋 ホームページを拝見するとダンプカーがずらりと並んでいて壮観ですね!
松山 初めは父と私と同級生の3人でしたが、代替わりして以降は私の小学校からの友だちや後輩たちがどんどん入ってきてくれて。妻や長男、次男、長女に従業員のお母さんたちも加わり、気付けば30人以上の体制になりました。ダンプも大小27台まで増えたんですよ。
嶋 それはすごい!スタッフさん全員がファミリーのような会社なんですね。

松山 私もこの会社にいる全員が家族だと思って接しています。皆も、現場やお客様の前では私を社長と呼びますが、会社に戻ってきた後は「父ちゃん」と呼んでいるくらいなんです(笑)。

1人に1台の“愛車”で仕事に勤しむ

嶋 スタッフさんたちと本当に良好な関係を築かれているのですね。メンバーも若い方が多いのですか?
松山 ええ、ほとんどが20代です。今はダンプはなかなか高額なのですが、何とか1人に1台を用意して、好みのカスタムまでして渡しています。
嶋 カスタムまで認めてくださるなんて、スタッフさんは嬉しいでしょうね!
松山 私も車をいじるのは好きですし、思い入れがあるダンプに乗るほうが仕事のモチベーションも上がると思いますからね。「自分の看板車だから、大事に乗って洗車もちゃんとしなさい」と言って、カスタムは自由にさせてあげているんです。そのかいあってか、皆仕事はとても早いですし、他人のダンプに乗ることは絶対ないほど、自分のダンプを大切に扱ってくれています。
嶋 若さゆえの勢いや欲をモチベーションへ昇華させる素晴らしいマネジメントですね。現場でスタッフさんたちと普段から共有されていることはありますか?
松山 あいさつをしっかりすることを徹底しています。お客様に顔を覚えていただくことが自分のためにもなりますし、

Focus on the topic

**社長の愛称は“父ちゃん”
家族同然の絆で躍進し続ける**

松山社長の家族や幼馴染、後輩たちが中心となって活躍する(有)五幸建材工業。全社員が家族同然の絆で結ばれており、団結力は他の追随を許さない。1人に1台ダンプカーを支給してカスタムまで自由にさせるという社長の愛情を、社員たちは日々の仕事のモチベーションにつなげている。



▲忘年会の様子

私は皆が現場でお菓子などを配りつつあいさつできるように「これで自分を売ってきなさい」とQUOカードを支給することもあるんです。また、大型車は少しの不注意で人を傷つける「凶器」になり得るので、安全運転や歩行者に道を譲るなど当たり前のことも共有しています。

仲間の幸せを守り続ける

嶋 ところで、私は(有)五幸建材工業さんの理念がすごく心に刺さりました。お客さん、会社、従業員、家族、従業員の家族、5つの幸せを大切にすることから「五幸」だとか。松山社長は、その理念をより色濃く受け継がれているようですね。
松山 はい。私は自分を頼ってきてくれたスタッフたちには「必ず幸せにする」と伝えていますし、お客様や家族への思いも同じです。会社というのは、スタッフたちが働いてくれるから成り立つもの。だからこそ、毎月の給料袋には一人

ひとりに「こんなことで貢献してもらってありがとう」と一筆の手紙を添えて渡すようにしています。
嶋 給料袋に手紙なんて、初めて聞きました!そこまで思ってもらえて、スタッフさんたちは間違いなく幸せですね。
松山 そうであれば私も嬉しいです。実際、スタッフたちは1人も辞めることなく付いてきてくれていて、小さい頃から知っている仲間の成長を間近で見られるのが私の原動力になっています。
嶋 では最後に、会社の将来のビジョンについてもいかがですか?
松山 今、長男に横浜の青葉台にある営業所を仕切ってもらっていますが、最近働き始めた次男にも川崎市に新しい営業所をつくって任せたいと思っています。また、私と同年代のスタッフたちが年齢的に現場仕事ができなくなっているの、必要に応じて営業や配車係に回ってもらうなど、長く働ける環境づくりも進めていくつもりです。



Company Data>>



有限会社 五幸建材工業

〒230-0071
神奈川県横浜市鶴見区駒岡 4-1-13
URL <https://goko-kk.co.jp/>